

白井川ブナ保護林

名称：白井川ブナ保護林

所在地：寿都郡黒松内町字白井川

林小班：126林班07小班

面積：19.84ha

指定年月日及び番号 昭和50年10月31日

設定目的

最北限に近いブナ群生地で、形質的にも良好で地利にも恵まれている。

地況

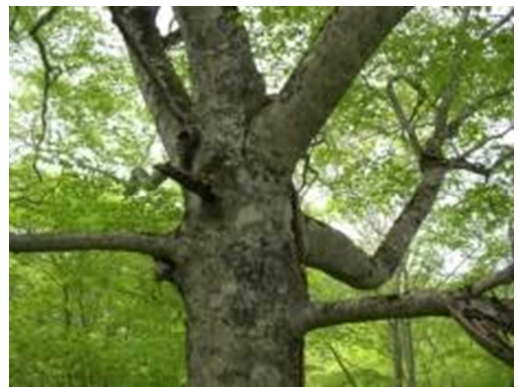
標高：150～320m

方位：E 傾斜度：20° / 15～30

地形区分：沢～峰複合

地質：第三紀花崗岩質岩石

土壌：Bd



林況

上層樹種：ブナが多くオヒョウニシ・イタヤ・シナ・ダケカンバ・アズキナシ・ハウノキ・トドマツ

中層樹種：ブナ幼樹・ナナカマド・サワシバ・トドマツ幼樹

地床植生：ササが優先し、沢浴はアキタブキ・キタアザミ・ヨブスマソウ・ハンゴンソウ、蜂通りはオオカメノキ・フッキソウ・コヨウラクツツジ・スゲ類

ha 当たり本数： 500～700

本蓄積： L160m³

平均直径： 26cm (ブナ50%) 樹高： 20m / 16～22

施業の沿革

明治39年模範林として国より譲渡され、明治45年第一次検討案当初より択伐施業林分として現在に至っているが、択伐においては、昭和年代に2回程度実行されたが、ブナは群状に保存されている。

